

「郷土の歴史講座 中讃地方の風俗・習慣と水利」

を開催しました



平成25年8月1日と8日の2日間、元国分寺北部小学校校長でもありました、高松市文化財保護協会の副会長の鶴川義文さんを講師にお迎えしました。

－中讃地方の風俗・習慣－

1. 衣 (衣服・木綿・洋服)
2. 食 (主食・副食・特別食)
3. 住 (屋敷構え・作事・間取り・建築儀礼)
4. 生産作業 (米作り・麦まき)
5. 農村行事 (地神祭・竜王神祭・春市, 夏祭
秋祭・盆, 正月・道饗神社祭)

などについて、昔どのような生活、習慣、行事が行われていたかをお話いただきました。



－水利－

国分寺町は中世の時代、讃岐の国は町村単独の豪族の勢力の下、お米を生産するには農業用水は欠かせず、また、農業用水の確保は戦いの勝敗が懸かる一大事である為、香川用水ができる今日まで、香西の本津川の利権をめぐる小さな争い事が起きていた。「西嶋八兵衛」が、ため池の築造、新田開発、川の付けかえを行った話など、中讃地方と讃岐の歴史も交えて水の乏しい香川県の水利についての興味深いおはなしになりました。